

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

H28年8月25日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者

住 所 大分県由布市新城896

氏 名 草野由久

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	草野牧場
事業場の所在地	豊後高田市大力
計画期間	平成28年4月1日～29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	肥育牛 〇 1
②事業の規模	牛 300頭
③従業員数	3名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	糞尿 ① 死体 ②

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	2910 t	5 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	2910 t	5 t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（27年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2910 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	2910 t
(今後実施する予定の取組)		
堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（27年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	動物のふん尿
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	1053 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	1053 t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・該当なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
化製場に委託			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量	t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
化製場に委託			
※事務処理欄			